

## 付録 調査票

芦屋市阪神・淡路大震災20周年事業



## 防災についての市民アンケート

本市では、阪神・淡路大震災から20年の節目にあたり、震災犠牲者への哀悼の意を表するとともに、震災で得た経験と教訓を次世代に継承し、災害に強いまちづくりを進めるため、「未来へつなぐ」～いのち・まち・こころ～をテーマに、阪神・淡路大震災20周年事業を実施しています。

その一環として、震災の記憶や経験・教訓の継承と災害に強いまちづくりを推進するため防災についてのアンケート調査を行なうものです。この調査から得られた結果を基に防災力、減災力を高めるとともに、今後の安全・安心のまちづくりの基礎資料として活用してまいります。

なお、この調査は、本市に住民登録をしている20歳以上の方のうち無作為に抽出した3千人を対象に実施しています。調査は無記名とし、ご回答いただきました内容は、調査目的以外に利用することはありません。また、調査結果につきましては報告書として公表してまいります。

本市の防災・減災対策を考える上での貴重な資料となりますので、ぜひ、ご協力をお願いいたします。

平成26年11月

芦屋市長 山中 健

## 防災についての市民アンケートについて

これは防災についての市民アンケート調査票です。

英語版のアンケート調査票、またはふりがな付きのアンケート調査票が必要な場合は、ご連絡ください。芦屋市企画部企画課 e-mail [kikaku@city.ashiya.lg.jp](mailto:kikaku@city.ashiya.lg.jp)

## Citizen Survey on Disaster Prevention

If you need either an English version or a Japanese with *furigana* version of the questionnaire, please contact the office below:

Ashiya City Planning Department Planning Section  
e-mail [kikaku@city.ashiya.lg.jp](mailto:kikaku@city.ashiya.lg.jp)

## 【報告3】

### 【ご記入にあたって】

- ① 質問に対しては、日ごろ防災について注意しておられることやお考えをお答えください。
- ② 回答の記入は、この調査票の該当する選択肢の番号を○印で囲んでください。鉛筆または黒のボールペンではっきりとご記入ください。
- ③ 回答方法は、設問により○印の数を指定しているものがありますので、指定された数にしたがって○印をつけてください。
- ④ 回答が「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、（        ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ⑤ 調査票および封筒には住所・氏名の記入は不要です。
- ⑥ 回答が終わりましたら、記入もれがないかご確認の上、同封の返信用封筒にて回答期限までにご投函ください。

**回答期限 11月21日（金）**

### 【アンケート調査に関するお問い合わせ】

芦屋市企画部企画課 阪神・淡路大震災20周年事業担当

TEL 0797-38-2127

**阪神・淡路大震災の記憶や経験・教訓の継承についておうかがいします。**

問1 あなたは、阪神・淡路大震災を体験されましたか。(〇は1つ)

1. 体験した → 問2へお進みください。 2. 体験していない → 問3へお進みください。  
(幼少期のため記憶していない場合を含む。)

問2 震災を体験した当時、あなたの考え方や行動に変化はありましたか。あれば特に変化があったのはどのような内容ですか。(〇は3つまで)

1. 家庭で災害に備えるようになった
2. 職場で災害に備えるようになった
3. 災害共済や地震保険に加入した
4. 居住地の災害に対する危険性を調べた
5. 家族や親戚とのつながりを強めた
6. ご近所とのつながりを強めた
7. 防災活動やボランティアへ参加するようになった
8. 防災情報への関心が高まった
9. その他の意識の変化 ( )
10. 特に変化はない

→ 問4へお進みください。

問3 家族や友人など周囲にいる阪神・淡路大震災を体験した人から、阪神・淡路大震災の話の聞いたり、自分で調べたりしたことにより、あなたの考え方や行動に変化はありましたか。あれば特に変化があったのはどのような内容ですか。(〇は3つまで)

1. 家庭で災害に備えるようになった
2. 職場で災害に備えるようになった
3. 災害共済や地震保険に加入した
4. 居住地の災害に対する危険性を調べた
5. 家族や親戚とのつながりを強めた
6. ご近所とのつながりを強めた
7. 防災活動やボランティアへ参加するようになった
8. 防災情報への関心が高まった
9. その他の意識の変化 ( )
10. 特に変化はない
11. 話を聞いたり、教わったりしたこと自体がない





【報告3】

問9 避難した先に十分な備蓄があるとは限らないため、避難する際には、準備している備蓄を持参することが必要です。ご自宅に、災害用に備蓄する飲料水・食料（調理不要な食品）は、最低何日分が必要だと思いますか。また、実際にご自宅では何日分を備蓄していますか。

(1) 何日分の備蓄が必要だと思いますか	1. 1日分	2. 2日分	3. 3日分	4. 4日分	5. 5日分	6. 6日分	7. 7日以上	8. わからない
(2) ご自宅では何日分備蓄していますか	1. 1日分	2. 2日分	3. 3日分	4. 4日分	5. 5日分	6. 6日分	7. 7日以上	8. 備蓄していない

問10 【該当される方のみお答えください】アレルギー疾患のある方や食事療法をされている方のための特別な食料は何日分を備蓄していますか。

ご自宅では何日分備蓄していますか	1. 1日分	2. 2日分	3. 3日分	4. 4日分	5. 5日分	6. 6日分	7. 7日以上	8. 備蓄していない
------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	------------

問11 あなたの世帯では、地震や風水害などの災害が発生した時に家族と一緒にない場合、家族との集合場所や連絡方法をどのように決めていますか？（○はいくつでも）

1. 固定電話で連絡
2. 携帯電話・スマートフォンで連絡
3. 携帯電話・スマートフォンのメールで連絡
4. 携帯電話・スマートフォン用の災害用伝言板で連絡
5. 災害用伝言ダイヤル171で連絡
6. パソコンのメールで連絡
7. 災害用ブロードバンド伝言板WEB171で連絡
8. SNS（ツイッター・フェイスブック・ミクシィなど）で連絡
9. 電話がかかりやすい離れた地域の親戚や知人を連絡先として決めている
10. その他の方法で連絡（ )
11. 集合場所だけ決めている
12. 決めていない

問12 災害への備えをするために何が参考になるとおもいますか。（○は3つまで）

1. テレビ・ラジオ・新聞などのマスコミ報道
2. 阪神・淡路大震災の経験や教訓
3. 市の広報紙、あしや防災ガイドブック、パンフレット等
4. 家族や知人の話
5. 防災訓練などのイベント
6. 学校・地域・職場での学習
7. 災害に関する本
8. その他（ )



問 16 あなたは、お住まいの地域の防災倉庫や貯水槽（飲料水）などが、どこに設置されているかご存知ですか。（〇は1つ）

- 1. 設置場所も使用方法も知っている
- 2. 知っているが、鍵の所在など使い方はわからない
- 3. 場所も、使い方も知らない

問 17 災害が発生した時に、避難に関すること以外で特に心配をしていることは何ですか。（〇は3つまで）

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 家族の安否               | 9. 災害情報の入手   |
| 2. 水道・ガス・電気などライフラインの確保 | 10. 治安の悪化    |
| 3. 飲料水・食料品の確保          | 11. 帰宅困難     |
| 4. トイレの確保              | 12. 液状化現象の発生 |
| 5. 連絡可能な通信手段の確保        | 13. その他      |
| 6. 家屋の倒壊、損壊、浸水         | ( )          |
| 7. 火災の発生               | 14. 特にない     |
| 8. 家具の転倒、損傷            |              |

**市の防災情報や防災対策についておうかがいします。**

本市では、様々な方法で市民に災害情報を提供し、早めに避難するなどの安全確保に努めていただくようにしています。また、災害に備えて、日ごろから行政による啓発活動や地域を中心とした防災訓練などを行ない、地域の防災力を高め、少しでも被害を少なくするよう努めています。

正確な情報を入手し、できるだけ早く行動することを心がけましょう。

問 18 本市では様々な手段で防災や災害についての情報を発信しています。下記の情報提供方法についてご存知ですか。

(1) あしや防災ネット	1. 知っている	2. 知らない
(2) 芦屋市ホームページ 「防災・減災情報」	1. 知っている	2. 知らない
(3) 芦屋市防災行政無線 システム	1. 知っている	2. 知らない
(4) サンテレビ まちなび	1. 知っている	2. 知らない
(5) ケーブルテレビ J:com チャンネル	1. 知っている	2. 知らない





問 21 平常時にも次の情報を市から提供していることを知っていますか。

(1) 土砂災害警戒区域	1. 知っている	2. 知らない
(2) 津波の際の浸水想定区域	1. 知っている	2. 知らない
(3) 総合防災訓練の案内	1. 知っている	2. 知らない
(4) 避難所の場所	1. 知っている	2. 知らない
(5) 津波一時避難施設の場所	1. 知っている	2. 知らない
(6) 標高表示板	1. 知っている	2. 知らない

\* 標高表示板

津波発生時の避難行動の目安にするため市内主要道路 30 か所に整備しています。

問 22 あなたが市から提供してほしい防災や災害についての情報があればお書きください。  
(自由回答)

問 23 「自助・共助・公助」という言葉がありますが、まずは自らの安全を確保すること、そして近隣の住民同士で助け合うことが、災害時には何よりも大切なことです。日ごろから地域防災に努め、いざという時に助け合えるようにしておきましょう。  
市内の多くの町で、自主防災会が地域の防災のために、地域防災訓練、夜回り、啓発活動などを行なっています。また、消防団が組織され消火活動や啓発活動に携わっています。あなたは自主防災会や消防団の活動を知っていますか。

(1) 自主防災会の活動	1. 知っている	2. 知らない
(2) 消防団の活動	1. 知っている	2. 知らない

問 24 あなたは、現在、防災訓練、夜回り、啓発活動などの自主防災会の活動に参加していますか。

1. 参加している → 問 27 へお進みください      2. 参加していない

問 25 【問 24 で「2.参加していない」と答えた方のみお答えください】あなたは、今後、自主防災会の活動に参加したいと思いますか。

1. 参加したい → 問 27 へお進みください      2. 参加したくない

問 26 【問 25 で「2.参加したくない」と答えた方のみお答えください】あなたはどのような状況であれば自主防災会の活動に参加しますか。(〇は3つまで)

1. 活動内容などが自分にとって身近であれば参加する
2. 参加の仕方など、事情に応じて柔軟に対応できるなら参加する
3. 近隣から誘いがあるなど知っている人がいれば参加する
4. 活動時間が合えば参加する
5. 活動内容が体力面などで自分に適していれば参加する
6. 地域全員の参加が必要な内容であれば参加する
7. その他 ( )
8. どんな場合でも参加しない

問 27 すべての人が安心して暮らせるために、お住まいの地域での防災対策として、今後どのようなことに取り組むべきと思いますか。(〇は3つまで)

1. 地域の危険な所を調べる
2. 災害に備えて救助器具や飲料水・食料を備蓄する
3. 地域での防災活動の中心となるリーダーを育成する
4. 防災訓練などの地域活動を活発にする
5. 地域での活動などを通して、住民同士のつながりを深める
6. 防災に関する知識や情報を地域で共有し、理解を深める
7. 住民や事業者、行政の緊急時の連絡体制と役割分担を決める
8. その他 ( )

問 28 その他、防災についてご意見があればお書きください。

【報告3】

統計的に処理する上で必要な項目ですので回答をお願いします。

① 性別をお選びください	1. 男性	2. 女性																																																									
② 年齢をお選びください	1. 20～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳	4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70歳以上																																																					
③ 家族構成をお選びください (〇は1つ)	1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 親と子 (2世代世帯)	4. 親と子と孫 (3世代世帯)	5. その他 ( )																																																						
④ あなたがお住まいの町名をお選びください (〇は1つ)	1. 剣谷	2. 奥山	3. 奥池町	4. 奥池南町	5. 山手町	6. 山芦屋町	7. 東芦屋町	8. 西山町	9. 三条町	10. 大原町	11. 船戸町	12. 松ノ内町	13. 月若町	14. 西芦屋町	15. 三条南町	16. 上宮川町	17. 業平町	18. 前田町	19. 清水町	20. 朝日ヶ丘町	21. 東山町	22. 六麓荘町	23. 岩園町	24. 翠ヶ丘町	25. 親王塚町	26. 楠町	27. 茶屋之町	28. 大榭町	29. 公光町	30. 川西町	31. 津知町	32. 竹園町	33. 精道町	34. 浜芦屋町	35. 平田北町	36. 伊勢町	37. 松浜町	38. 平田町	39. 打出小槌町	40. 宮塚町	41. 若宮町	42. 宮川町	43. 浜町	44. 西藏町	45. 呉川町	46. 春日町	47. 打出町	48. 南宮町	49. 大東町	50. 新浜町	51. 浜風町	52. 高浜町	53. 若葉町	54. 緑町	55. 潮見町	56. 陽光町	57. 海洋町	58. 南浜町	59. 涼風町
⑤ あなたがお住まいの場所の居住年数 (〇は1つ)	1. 3年未満	2. 3年以上5年未満	3. 5年以上10年未満	4. 10年以上20年未満	5. 20年以上30年未満	6. 30年以上																																																					
⑥ あなたがお住まいの住宅 (〇は1つ)	1. 持家 (一戸建て)	2. 持家 (長屋建て)	3. 持家 (分譲マンション等)	4. 民間賃貸住宅	5. 県営・市営住宅	6. 社宅・職員住宅	7. 公社・公団住宅	8. その他																																																			
⑦ 以前のお住まいの場所 (〇は1つ)	1. 芦屋市内の別の場所	2. 芦屋市以外	3. 以前から今の場所で居住																																																								
⑧ 日頃の近所づきあいの程度をお答えください (〇は1つ)	1. 親しく付き合っており普段から助け合える	2. 名前や家族構成や暮らしぶりも大体わかる	3. 名前や家族構成は大体わかる	4. 会えば挨拶する程度	5. 近隣の方とはほとんど付き合いがない																																																						

ご協力ありがとうございました。回答されたアンケートは、記入もれなどがなければ確認し、11月21日(金)までに、同封の返信用封筒でお近くのポストに投函してください。